

北海道大空高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスクール宣言)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和3年度に重点化した取組の実現状況・課題			
「5つの基本方針」	「10の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
I グローバル教育 で人材を育てる 学校	①「生徒一人一人を一層成長させる」教育を行います。	学校農業クラブ活動をとおして生徒一人ひとりが目標をもって主体的に取り組める環境づくりを目指す。	地域との連携を強化し、主体的で対話的な深い学びを実現できた。	地域に本校での学習の成果を発表・提案していきたい。	5
	②「世界と日本をつなぐグローバル」教育を行います。	国際教育をとおして積極的に海外情報を収集しようとする態度を育成するとともに、収集した情報を適切に活用する力を育成する。	SNS等を活用し、海外の情報を学ぶことができた。	教科横断的教育により必要な国際情報を収集できるようにする。	3
II 地域社会・産業に 寄与する学校	③「地域農業の生産を支える」教育を行います。	地域農業の特色や栽培技術について主体的に学べる環境づくりを目指す。	春季の実習が実施できず、計画変更等があったが、必要最低限の農場管理を行うことができた。	気象状況や社会情勢によって農場運営が滞らないよう複数の運営プランを構築して対応する。	3
	④「地域の農業関連産業に寄与する」教育を行います。	地域の農業関連産業に関心を持てるような事業を行い、進路実現に向けて努力できる環境づくりを目指す。	地域農業者と連携したインターンシップを実施できた。	企業訪問やインターンシップの更なる充実を図る。	4
III 地球環境を守り 創造する学校	⑤「地球環境を守り創造する」教育を行います。	農業クラブ活動をとおして、地域全体の環境美化に努め、環境保全への意識を高める。	地域施設への花壇造成など花を活用した美化活動を実施した。	ボランティア等への積極的な参加を促す。	4
	⑥「食農」教育を推進します。	異校種連携をとおして、農業の意義や役割を理解してもらう環境づくりを目指す。	幼稚園・中学校・特別支援学校との交流学习を実施し、農業の学びを深めることができた。	地域食材や特産品を広める食育活動を実施する。	4
IV 地域交流の拠点 となる学校	⑦「地域資源を活用する」教育を行います。	プロジェクト学習をとおして、地域資源の活用法について考える場面をつくる。	地元の食材や資源をテーマとした活動を行い、地域をPRできた。	今後も地域農業の課題を解決するプロジェクト学習を行う。	5
	⑧「地域交流の拠点となる」教育を行います。	地域商店街活性化プロジェクトの運営主体となり積極的に展開する。	社会情勢により販売会の開催数を減らすこととなったが、開催時には所定の目的を達成することができた。	公衆衛生にもしっかり対応した販売会の体制を整え、地域の期待に応えられるようにする。	4
	⑨「機関・団体と連携した」教育を行います。	地域の大学や試験研究機関、農業関連団体との連携を積極的に実施する。	JAと連携した新商品開発などプロジェクト活動をとおして実施できた。	更なる外部機関との連携を推進していく。	4
V 地域防災を推進 する学校	⑩「地域防災を推進する」教育を行います	自分たちの地域はみんなで守るという意識を醸成する。	新型コロナウイルス感染拡大防止について検討を行った。	気象災害に公衆衛生の観点を加え、地域防災意識を高める。	3